

「子どもたちが目を輝かせる 授業を目指して」

名古屋市教育委員会 義務教育課
指導主事 荒川 洋子 先生



今年度、「ナゴヤ学びのコンパス」の理念のもと、各校において様々な実践が行われたことと思います。今、目の前にいる子どもたちはどのような表情で授業に取り組んでいるのでしょうか？

【重視したい学びの姿】

- ・自分に合ったペースや方法で学ぶ
- ・多様な人と学び合う
- ・夢中で探究する

子どもたち一人一人が思いや意図をもち、それを人と関わらせ、そしてまた個に戻す。それを繰り返しながら、一つの曲

の表現を深めていく。これは今までも私たち音楽科がずっと取り組んできたことです。もともと、音楽という教科は子ども中心の学びが展開されていたはずですが、では、すべてが今まで通りでよいかということではありません。

今回、「ナゴヤ学びのコンパス」の理念が策定されたことで、本当に子ども中心の学びとなっているか再確認し、改善することが必要です。「教師の思いをそのまま子どもたちの思いとして表現させているか」「子ども中心の学びとなるような授業の展開となっているか」などです。さらに、**すべての子どもの思考が働き、思いや意図がもて、それが深まっているかも見直す必要があります。「自分に合ったペースや方法で学ぶ」**は、技能面に目が向きがちですが、実は、**すべての子どもに思いや意図をもたせ、それを深めさせていくことも大切なことです。**そのため、**一人一人にきちんと目を向け、一人一人への支援をどう行っていくかを考えていかなければなりません。**

子どもたち一人一人が目をキラキラと輝かせながら、「どうしたらもっとよい表現になるかな」「この曲の魅力はどこにあるのかな」と考え、仲間とともに夢中で探究する姿があふれる授業を目指して、私たち教師がどう授業を展開し、子どもたちをどう支援していくとよいのかみんなで考えていけたらと思います。

令和6年度 指導体験記録入賞者(音楽)

- 佳作 緑区 有松小学校 伊東 祐奈 先生
「分かる！できる！音楽って楽しいな♪」
主体的に学習に取り組む姿を目指して
- 佳作 港区 当知中学校 一楽 瑞香 先生
自分と仲間と音楽に向き合う生徒の育成

音楽科冬季研修会

2月15日(土)
ルブラ王山

【教育研究部】

歌唱や器楽の活動において、児童が豊かな音楽表現を目指し、主体性をもって生き生きと活動する実践内容が報告されました。手立てとして、学習の見通しをもって取り組めるよう工夫された学習カードや、自分に合ったペースや方法で学びを進めるための動画、ワークシートなどの活用例が紹介されました。



【授業研究部】

楽しく学ぶ鑑賞活動の提案、表現を豊かにする歌唱指導の方法について発表しました。鑑賞活動では、曲の拍に合わせて隣の人にリングバトンを回し、曲想の変化を感じ取りました。歌唱指導では、深い呼吸を習得し、呼吸をコントロールして強弱を歌い分ける活動を行った後、参加者全員で「サンタルチア」を歌唱しました。



【講演】

「音楽科教育に求められるもの」

名古屋市教育センター 指導主事 斉藤 玲子 先生

音楽科教育に求められていることとは何か、参加者同士の対話を交えながらご講演いただきました。音楽科教育では、感性を働かせるために、「どのように音楽に出合わせ、心の動きに働き掛けて学ばせていくのかを考えて授業改善を図るか」が大事であり、これは「ナゴヤ学びのコンパス」に示す姿につながることをお話いただきました。そして、音楽は人生を豊かにする「文化的処方」とも言われており、音楽は人が人らしく生きていく上でいかに大切であるかを熱く語ってくださいました。私たち教師が、これらの音楽科教育に求められていることをしっかりと自覚し、音楽の大切さを発信していく必要があることを改めて考えることができる有意義な学びとなりました。



第24回 名古屋市中学校合唱フェスティバル

2月1日(土) 名古屋大学 豊田講堂

名古屋栄ライオンズ主催の合唱フェスティバルが6年ぶりに会場で開催され、中学校22校が練習の成果を発表しました。それぞれの学校が特色ある合唱を披露し、観客を魅了しました。全員合唱では、出演者全員が気持ちを一つにして、会場いっぱいに素敵なハーモニーを響かせました。



令和6年度 名古屋市教育研究員 わたしの研究

「音楽のよさを音楽づくりに生かす児童の育成」
緑区 東丘小学校 吉田 悦子 先生

音楽を聴いたり演奏したりして感じた「よさ」をその後の表現でも生かせるようになってほしいという思いから研究を始めました。音楽の「つくり手」という立場が主体的に音楽に関わることに繋がると考え、音楽づくりで実践を行いました。



「音楽のよさを音楽づくりに生かすこと」とは、音楽を形づくっている要素(以下、諸要素)の特徴を捉え、それらをつくっている音楽にどのように生かすのかを繰り返し試すことであると考えます。諸要素の特徴を捉えるための音楽遊び「耳マッチョタイム」と、諸要素をどのように音楽に生かすのかを繰り返し試すためのデジタルポートフォリオ「ねるねるねる音(ね)」の二つの手立てを講じ、主題に迫る児童の育成を目指しました。

明日につながる わくわく 音楽学習会

12月7日(土) ほのか小学校

前半は、たかしま小主幹教諭の光川知里先生と、音楽科指導員の笠寺小徳田幸子先生によるトークセッションが行われ、光川先生がこれまで取り組んできた実践について語られました。また、参加者が小グループに分かれ、児童生徒が主体的に学び続けられるような歌唱指導の在り方について、日頃の悩みを共有しながら話し合いました。



後半は、滝ノ水中学校の山本高栄先生より、合唱指導のポイントを教えてくださいました。教師と生徒、生徒同士での対話を通して曲想を捉え、歌声を確認しながら合唱をつくり上げていく過程を体験することができました。

〈参加者の声〉

- ♪主体的に活動するための土台を毎回の授業で培っていきたいです。
- ♪山本先生の指導ボキャブラリーに加えて、それを裏付ける正確な音楽理論が大変勉強になりました。

令和7年度 会員募集

- ・ 現会員継続募集 入力期限 3月24日(月)まで
下記、URL または二次元コードからお願いします。
<https://x.gd/keizoku07>
- ・ 新規会員募集 4月21日(月)まで



内容に関するお問い合わせは、広報部 瀬古小 安部恵理
まで、お知らせください。

【Email abe0825@nagoya-c.ed.jp】

名音教のHPです！
二次元コードで
アクセスできます！

